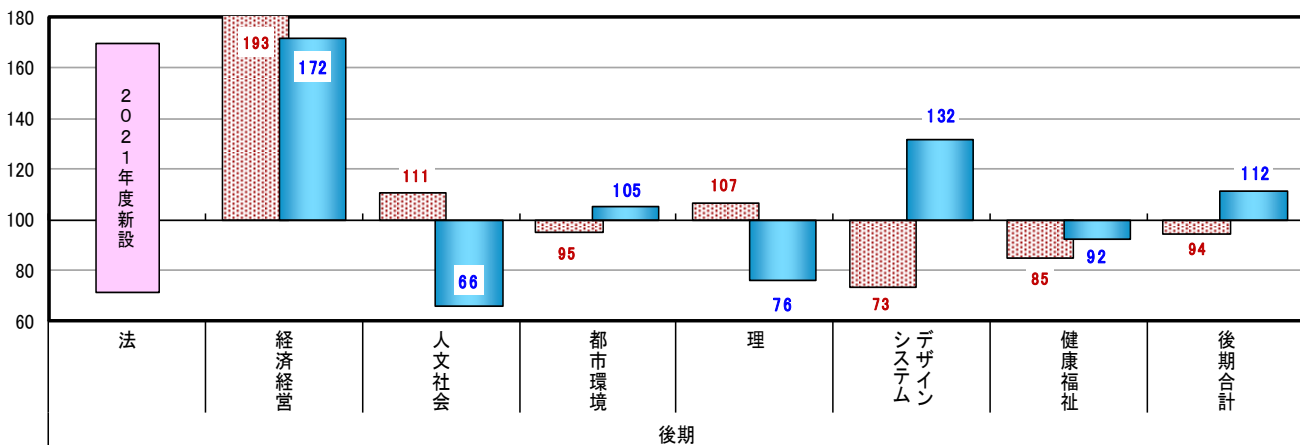
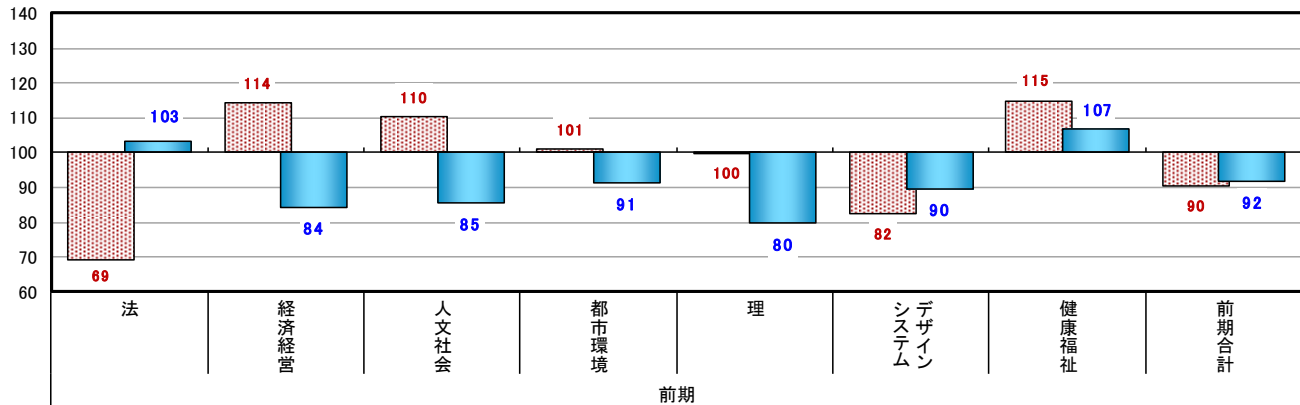


# 2021 年度入試状況分析【国公立大】

東京都立大：前期は法、健康福祉のみ増加、後期合計は増加 前期：-435人 後期：+308人

※前年度の志願者数を100とする指数

■ 2020年度/2019年度 ■ 2021年度/2020年度



## 入試変更点

※コロナ禍対策のため、調査書等については採点の対象とはせず全ての受験生を一律満点として扱う。  
第1段階選抜基準変更：

健康福祉(看護)〈後〉…約14倍(通過予定人数：70人)→約30倍(通過予定人数：120人)  
 (理学療法)〈後〉…約14倍(通過予定人数：70人)→約30倍(通過予定人数：120人)  
 (作業療法)〈後〉…約14倍(通過予定人数：70人)→約30倍(通過予定人数：90人)  
 (放射線)〈後〉…約14倍(通過予定人数：112人)→約30倍(通過予定人数：240人)

募集人員：法(法)…〈前〉176人→150人、〈後〉0人→15人 ※後期日程新規実施

経済経営(経済経営)…〈前〉110人→100人

人文社会(人間社会)…〈前〉80人→70人、〈後〉15人→5人

(人文)…〈前〉51人→48人、〈後〉10人→5人

都市環境(都市基盤環境)…〈前〉31人→26人、〈後〉6人→8人

(建築)…〈前〉30人→27人

(環境応用化学)…〈前〉30人→25人、〈後〉8人→9人

システムデザイン(情報科学)…〈前〉30人→22人

(電子情報システム工)…〈前〉51人→49人

(機械システム工)…〈前〉54人→40人、〈後〉18人→19人

(航空宇宙システム工)…〈前〉28人→26人、〈後〉10人→8人

(インダストリアルアート)…〈前〉32人→30人

健康福祉(看護)…〈前〉40人→35人、〈後〉5人→4人

(理学療法)…〈後〉5人→4人

(作業療法)…〈後〉5人→3人

共通テスト：健康福祉(看護)〈後〉…数2+外+{理2 or (理 or 理基2)} → 国+数2+外+{理2 or (理 or 理基2)}

個別試験：法(法)〈前〉…国+外→国+(歴 or 数)

経済経営(経済経営)〈前・一般〉…国+外+(歴 or 数) → 国+(歴 or 数)

(経済経営)〈前・数理〉…数+外→数

人文社会〈前〉…国+外+(歴 or 数) → 国+論+(歴 or 数)

(人文)〈後〉…論→なし ※個別試験廃止

都市環境(地理環境)〈前〉…数+外+(歴 or 理)から2 → 数+(歴 or 理)から2

(都市基盤環境)、(建築)、(環境応用化学)〈前〉…数+理+外→数+理

(観光科学)〈前〉…数+外+(歴 or 理) → 数+(歴 or 理)

## 2021 年度入試状況分析【国公立大】

	都市環境(都市政策科学(文系))<前>…国+外+(歴 or 数)→国+(歴 or 数) (都市政策科学(理系))<前>…数+外+(歴 or 理)→数+(歴 or 理) 理(物理)、(化学)、(生命科学)<前>…数+理 2 +外→数+理 2 (数理科学)<前>…数+理+外→数+理 システムデザイン(インダストリアルアート)<前>…数+外+造形表現→数+造形表現 (情報科学)、(電子情報システム工)、(機械システム工)、(航空宇宙システム工)<前>…数+理+外→数+理
<b>COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数</b>	
大学全体では、前期は 435 人(92)減少したが、募集人員(前年度募集人員対比指数 90)も減少したので、志願倍率は 5.3 倍→5.4 倍にわずかだがアップ。後期は、308 人(112)の増加で、前年度 6 年ぶりに減少したが、再び増加に転じた。なお、第一段階選抜不合格者数は、<前>は 326 人→445 人と大幅増加。<後>も 195 人→413 人と大幅増加。	
<b>&lt;前期日程&gt;</b>	
○ <b>法(103)</b> は、前年度大幅減少の反動で増加。募集人員(前年度募集人員対比指数 85)が、後期実施の影響で大幅減少したことで、志願倍率は 6.6 倍→8.0 倍にアップ。 ○ <b>経済経営(84)</b> は、募集人員(前年度募集人員対比指数 92)の減少と、前年度増加の反動で大幅減少。特に、個別試験が外国語削除、数学のみとなった理系型の<数理>(79)は、前年度激増の反動で大幅減少。 ○ <b>人文社会(85)</b> は、募集人員(前年度募集人員対比指数 90)減少と、前年度増加の反動で大幅減少。しかし、志願倍率は 5.1 倍→4.9 倍のわずかにダウン。学科別では、(人文)(92)は 3 年連続減少、(人間社会)(81)は大幅減少で、志願倍率も 5.2 倍→4.8 倍にダウン。 ○ <b>都市環境(91)</b> は、2 年ぶりに減少。志願倍率は 3 年連続 5.2 倍で推移。学科別では、(環境応用化学)(135)は、募集人員(前年度募集人員対比指数 83)が減少したが、前年度の反動で大幅増加。(都市政策科学)は、前年度増加の反動で<文系>(69)、<理系>(75)ともに大幅減少。 ○ <b>理(80)</b> は、大幅減少で 2018 年度の改組後では最少の志願者数で、志願倍率も 5.0 倍を下回った。学科別では、(数理科学)(116)が前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(化学)(43)は、前年度大幅増加の反動で半減以下。(生命科学)(74)は、2 年連続大幅減少で、志願者数は約 70 人で 2018 年度の改組後では最少の志願者数。 ○ <b>システムデザイン(90)</b> は、3 年連続減少で、志願者数は 1,000 人を下回った。しかし、募集人員(前年度募集人員対比指数 86)が減少したことで、志願倍率は 5.3 倍→5.5 倍とアップ。学科別では、(電子情報システム工)(135)が、前年度半減以下の反動で大幅増加。(機械システム)(68)は、募集人員(前年度募集人員対比指数 74)減少と、前年度大幅増加の反動で大幅減少。 ○ <b>健康福祉(107)</b> は、募集人員(前年度募集人員対比指数 95)はやや減少だが、3 年連続で増加。学科別では、(理学療法)(122)、(看護)(115)が大幅増加、(放射線)(104)がやや増加、(作業療法)(71)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。	
<b>&lt;後期日程&gt;</b>	
○ <b>法</b> は、今年度から後期を実施。募集人員 15 人、志願者数 169 人、志願倍率 11.3 倍。 ○ <b>経済経営(172)</b> は、前年度はほぼ倍増、今年度は激増で 2 年連続増加。志願者数は 400 人に迫り、2018 年度の改組後では最多の志願者数で、志願倍率は 6.0 倍→11.5 倍→19.8 倍とアップ。 ○ <b>人文社会(66)</b> は、2 年連続増加の反動と募集人員が半減以下になったことにより大幅減少で、2018 年度の改組後では最少の志願者数。しかし、募集人員の減少で志願倍率は 25%に迫る高倍率となった。なお、過去 4 年間の志願倍率は 9.9 倍→12.6 倍→15.0 倍→24.7 倍と 3 年連続アップ。学科別では、(人間社会)(57)、(人文)(81)といずれも大幅減少だが、志願倍率はアップで競争は激化。 ○ <b>都市環境(105)</b> は、募集人員(前年度募集人員対比指数 108)の増加と 2 年連続減少の反動で増加。学科別では、(都市政策科学)(191)がほぼ倍増、(地理環境)(128)も前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、コロナ禍の影響を強く受けている系統である(観光科学)(76)が大幅減少。一方で、(都市基盤環境)(87)は減少。 ○ <b>理(76)</b> は、2018 年度の改組後 2 年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、4 学科の全てが減少だが、特に(数理科学)(67)、(生命科学)(73)が 2 年連続大幅減少、(化学)(70)も前年度ほぼ倍増の反動で大幅減少。 ○ <b>システムデザイン(132)</b> は、前年度大幅減少の反動で大幅増加、志願者数も 900 人を上回った。過去 3 年間の志願倍率の推移を見ると 15.0 倍→11.0 倍→14.7 倍で、2 年ぶりに 14.0 倍を上回った。学科別では、5 学科の全てが増加だが、特に、(電子情報システム)(179)が 2 年連続大幅減少の反動で激増。 ○ <b>健康福祉(92)</b> は、減少で 2 年連続減少。しかし、募集人員(前年度募集人員対比指数 83)が大幅減少で、志願倍率は 12.0 倍→13.3 倍にアップして競争は激化。学科別では、(理学療法)(152)が大幅増加、(作業療法)(100)、(看護)(101)が前年度並。一方で、(放射線)(63)は前年度倍増以上の反動で大幅減少、2016 年度から反動による大幅増減が継続。	